

支援センター名	紀宝町学び支援センター「元気キッズ」	
所在地	〒519-5711 三重県南牟婁郡紀宝町井田1415-2 井田公民館内	
連絡先	Tel 0735-23-3028/0735-32-3710 Fax 0735-28-3200 ホームページ <a href="http://www.ztv.ne.jp/web/genki-ki">http://www.ztv.ne.jp/web/genki-ki</a>	

## 事業の概要とポイント

中学校から、1年生の総合的な学習の時間に、地域とかかわりを深めながら様々な体験活動をさせたいと相談を受けた。コーディネーターが中心となって講座を企画し、センター登録の支援ボランティアや地域の福祉施設・高等学校・文化サークルなどの協力を得ながら、半年間にわたる「なんでも体験してみよう」講座を実施した。

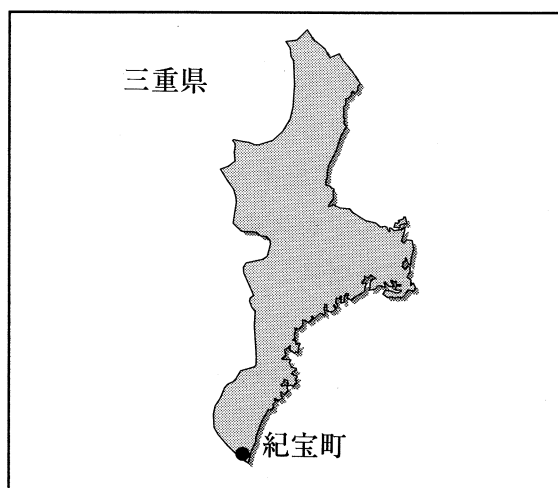
## 関係した学校・団体の名称

紀宝町鵜殿村中学校組合立矢渕中学校，県立木本高等学校，県立紀南高等学校  
 地元音楽家，音楽バンド「わがらーず」，歴史サークル「熊野の歴史を考える会」  
 登録ボランティア「茶道」「生け花」「囲碁」「お菓子づくり」「熊野の歴史」  
 紀宝町社会福祉協議会，福祉施設「宝寿園」，社会教育施設「ふるさと資料館」  
 「鵜殿村ふるさと歴史館」

## 地域の現況・特色

活動対象地域の鵜殿村の人口は5,007人である。

鵜殿村は，三重県の南端熊野川の河口部に位置し，かつては熊野材の一大集散地として栄え，近年は鵜殿港を活用した製紙業を中心に商工業が発展し，人口も和歌山県新宮市のベッドタウンとして年々増加している。「日本一小さな村」の特色を活かし，地域・行政が協働で来年度完成予定の「生涯学習センター」を核に，スポーツと生涯学習が融合した活力と笑顔あふれるまちづくりを進めるために，積極的な取組を展開している。



## 企画から活動までの経緯

- 5月26日 矢渕中学校から総合的な学習でどんな体験活動をしたらよいか相談を受けた。
- 5月28日 矢渕中学校にて、コーディネーターと矢渕中学校の担当教諭で、開講分野や日程について話し合いをした。実施方法は生徒の選択講座とし、具体的な開講分野（調理、伝統文化、文化、歴史、福祉）と日程を決めた。
- 5月29日 開講分野に沿った実施内容（お菓子づくり、お茶・生け花・囲碁、音楽鑑賞と音楽家の演奏、地域の歴史と熊野古道、福祉の世界）を決め、コーディネーターが各指導者に依頼を行った。
- 6月8日 各指導者の了解を得た後、「なんでも体験してみよう」（前期）の実施内容および日程を一覧表（別紙）にまとめ、矢渕中学校の担当教諭に届けた。矢渕中学校の1年生担当教諭は、一覧表に沿って講座内容を各クラスで説明し、生徒から希望講座（第1・第2希望）のアンケートをとった。
- 6月12日 矢渕中学校で、指導者・コーディネーター・1年生担当教諭・学校長による合同会議を行い、講座のねらいを確認した後各講座担当教諭と指導者で実施場所や実施方法、生徒の移送について打合せを行った。
- 8月5日 「なんでも体験してみよう」講座の第3回目は、夏休み期間中に実施した。
- <音楽鑑賞>  
保健センターで地元音楽家と音楽バンドの演奏を鑑賞した。生徒22名。担当教諭1名、地元音楽家1名、音楽バンド「わがらーず」3名、コーディネーター1名が参加した。
- <熊野古道>  
松本峠（熊野古道）を歩きながら歴史を学んだ。生徒19名。担当教諭1名、支援ボランティア1名、コーディネーター1名が参加した。
- <福祉の世界>  
福祉センターで、3班に分かれ福祉体験実習を行った。生徒18名。担当教諭1名、紀宝町社会福祉協議会職員5名が参加した。
- 9月19日 「なんでも体験してみよう」講座の第5回目を実施した。
- <音楽鑑賞>  
福祉センターで吹奏楽部員の演奏を鑑賞したり、指揮者体験を行った。生徒22名。担当教諭4名（高等学校3名）、紀南高等学校吹奏楽部員20名、コーディネーター1名が参加した。
- 10月10日 保健センターで、指導者・コーディネーターの合同会議を行い、各講座の様子や内容などについて情報交換を行った。話し合われた内容は事務局が文書にまとめ、後日矢渕中学校の担当教諭にも届けた。

## 事例の展開内容（特色など）

矢渕中学校から、生徒の地域に対する関心が低いために、総合的な学習の時間を活用して地域とのかかわりを深めながら、「伝統・文化・歴史」を中心として様々なことを学ばせたいと考えているが、学校だけでは十分な対応ができないからと相談を受けた。

早速コーディネーターが、矢渕中学校と生徒の希望を勘案しながら実施内容を決定、高等学校の吹奏楽部に支援を依頼し、高等学校の理解のもと公欠扱いで「演奏体験と鑑賞」が実現した。また、夏休みの講座実施会場も、村内に限らず紀宝町の社会教育施設を積極的に活用した。

前期5講座各5回、後期6講座各5回・計55回の長期にわたり実施された講座が、指導者と生徒の地域でのふれあいを育む機会となった。毎回積極的に参加する熱心な生徒の姿が見られた。

## 企画・活動する上でのポイント、留意点など

豊かな学習が継続・安定的に実施にされるためには、コーディネーターが、学校との相互理解と信頼関係を築き上げることが必要である。本センターの場合、センター設立準備段階から各小・中学校の教職員が実行委員として加わり、学校や子どもの視点に立った運営方法を念頭に置きながら話し合いを進めてきた。このような経緯と、各小・中学校にセンターとの窓口となる教職員が位置づけられ、日頃からコーディネーターとの連携が密に図られているからこそ、スムーズな講座実施へとつながったもの考える。さらに矢渕中学校が、指導者に対してセンターの規定（謝金・交通費・材料・保険）を導入して対応することで、渉外関係に不安をもたずに取り組めたもの考える。

## 評 価

コーディネーターが地域と学校を自然な形で結びつけることにより、地域の指導者が生徒とふれあいながら今まで培ってきたものを還流したり、学校については地域とのかかわりを深めながら、地域の教育資源を学校教育に活かすことができ、ともに有益な取組になったもの考える。

今後も学校との連携を密にしながら、学校や生徒の希望に応えられるよう、コーディネーターの力量を高めるとともに、支援センターの機能充実や支援ボランティアの開拓をさらに進める必要がある。

## 【活動風景】



平成14年度矢渕中学校(1年生)総合学習(前期)「なんでも体験してみよう」  
 02.9.26協力:紀宝学び支援センター元気キッズ!  
 時間:午後1時45分~3時30分(8月以外)\*終了時間が多少早くなる場合があります。

分野	調理	伝統文化		文化		歴史		福祉
		お茶、いけ花、囲碁	音楽鑑賞と音楽家の演奏	地域の歴史と熊野古道	福祉の世界			
内容	お菓子づくり お菓子づくりを 楽しみましょう	お茶 お茶を点てましょ う いけ花 美しい心でお花をいけてみ ましょ う 囲碁 囲碁を覚えよう	音楽鑑賞と音楽家の演奏 クオリテイーの高い音楽 に親しみましょ う 地域の音楽家の演奏を聴 いてみよ う	地域の歴史や熊野古道を学ぼう んか	福祉の世界 福祉について学びませ んか			
人数	33名	23名	22名	19名	18名			
1	6 / 19 水	●お茶体験① ●お茶体験②	●ファンタジー音楽 ●音楽紀行 ●10代の演奏家の音楽 *保健センター ●ファンタジー音楽 ●音楽紀行 *保健センター	●「熊野について」 *矢渕中学校 ●「紀宝町の熊野古道」 *ふるさと資料館	●新しい福祉の世界 *矢渕中学校 ●福祉体験 *福祉センター			
2	6 / 25 火	●いけ花体験	●地元音楽家の演奏 ・ギター奏者 ・わがら一ず *保健センター	●体験「熊野古道・松本峠を歩く」 *松本峠(熊野市)	●福祉体験 *福祉センター			
3	8 / 5 月	●囲碁体験①	●高校生の演奏(木本高 校) ・演奏と楽器の説明・質疑 *矢渕中学校		●福祉体験 *宝寿園			
4	9 / 12 木	●デコレーション ケーキ ●カルピス	●囲碁体験②	●「熊野古道と世界遺産」 ●世界遺産「スペインの サンチャゴへの道」 *矢渕中学校	●まとめ *矢渕中学校			
5	9 / 19 木	●シュークリーム ●梅ジュース						
場所	保健センター	矢渕中学校						